昭和25年8月24日 第3種郵便物認可 平成25年8月10日発行（毎月1回10日発行）第69巻8号 通巻第809号
CODEN:SENGA 5 ISSN 0037-9875
http://www.fiber.or.jp/

FIBER

The Society of Fiber Science and Technology, Japan

繊維学会誌

繊維と工業 Reviews and News

報　文 Original Articles

2013 Vol.69 8

糖 鎖 工 学

～Glycotechnology～

教育・研究の基本コンセプト

「巨大分子」の設計・合成に関し，反応（Reaction）と物質（Material）の両面から
独創的かつ実践的アプローチができる人材の育成と基礎研究

Tohoku University SHODA Laboratory

研究室のスローガン

・オリジナリティー
・常日頃の実験の中から生まれる“生きた知恵”
・観察力と想像力　(Observation and Imagination)
・いつも元気で実験！

東北大学大学院工学研究科バイオ工学専攻
〒9808579 仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-11 Tel:022-795-7230
http://www.che.tohoku.ac.jp/~poly/index.html

東京農工大学大学院・生物システム応用科学府
物質機能システム学専修　物質機能設計分野
荻野 研究室 （荻野 賢司 教授）

〒184-8588　小金井市中町2-24-16　TEL&FAX: 042-388-7404

kogino@cc.tuat.ac.jp　http://www.tuat.ac.jp/~oginolab/

研究分野：有機材料化学 高分子化学

キーワード：特殊構造ポリマー 有機半導体 フォトリフラクティブ材料

概要

多機能多相系有機材料を指向したブロックやグラフト共重合体の設計合成を行っている。ポリマーの一次構造を制御することで、ミクロ相分離構造に代表される多相な高次構造を形成させ、それに伴う高分子材料の高機能化、高性能化を目指しています。特に有機半導体関連の材料を研究対象としています。

有機半導体（光導電性材料）のナノ構造制御の必要性

高性能化に伴う材料への要求

- 単一相系から多相系へ（機能分離型）
- アモルファスから規則性へ（移動度の向上）

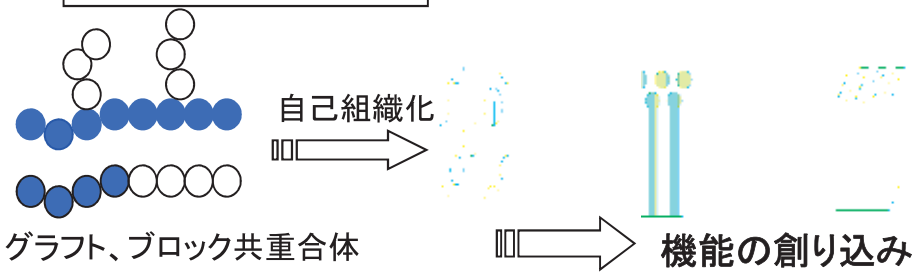
⇩

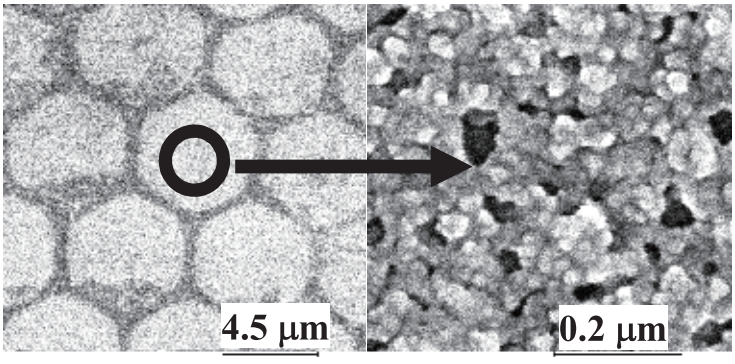
高分子の自己組織性を利用した
ナノ構造制御（ボトムアップ方式）

応用例

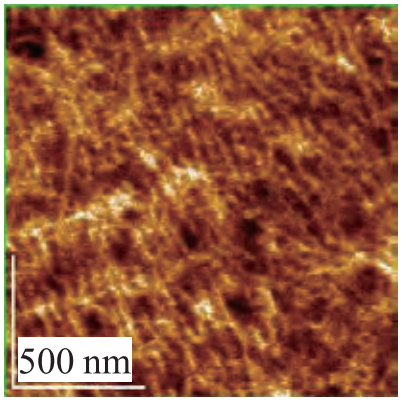
- 電子写真
- 有機EL素子
- 有機トランジスタ
- 光電変換素子
- フォトリフラクティブ素子　等

ナノ構造制御の手法





ブロック共重合体テンプレートを用いて
作製したドット状ポリアニリン



ポリチオフェン系ブロック共重合体薄膜

AsahiKASEI

ベンベルグ®は未来を広げる。

A Touch of Nature

Bemberg®

Cupro fiber

ベンベルグの原料はコットンの種のうぶ毛、コットンリンター。

80年以上も前に生まれた、セルロース100%の環境にやさしい再生繊維です。(表示はキュプラ)

自然素材に独自の技術を加えることで、自然を超えた心地よさを生み出します。

裏地はもとより、衣料、ホームテキスタイルなど様々な分野に用途を広げ続けています。

世界中で旭化成だけが創りだす、未来を広げるオンリーワン素材。それがベンベルグ。

昨日まで世界になかったものを。

Fine answers now

旭化成せんい株式会社

大阪 06-7636-3360 東京 03-3296-3806

www.bemberg.jp

繊　維　学　会　誌

平成 25 年 8 月　第 69 巻　第 8 号　通巻　第 809 号

目　　次

繊維と工業（Reviews and News）

【時　　評】感性研究フォーラム“感性の響き” …… 徳山　孝子 … P-253
【解　　説】形状記憶高分子の最近の動向 …… 猪股　克弘 … P-254
ミャンマー縫製事情 …… 浅井　博康 … P-259
やさしい遠赤外線の話 …… 尾上　正行 … P-265
【連　　載】〈機能紙 8〉
機能紙類縁（周辺）製品の将来 …… 森川　政昭 … P-269
〈文化の伝承－祭り－ 5〉
岸和田だんじり祭 ― けんか祭りから都市祭礼への脱皮 ― …… 石田　信博 … P-273
【レポート】平成 25 年度繊維学会年次大会 …… 年次大会実行委員会 … P-278
【議 事 録】（一般社団法人）繊維学会第 649 回理事会議事録（抜粋）…… P-283
（一般社団法人）繊維学会平成 25 年度通常総会（議事録）…… P-283

報　　文（Original Articles）

【一般報文】過炭酸ナトリウム漂白活性化剤共存下におけるペルオキシダーゼによる色素の退色反応機構
…… 森田みゆき，渡辺　貴子，東　　輝 … 147
Preparation and Characterization of Glass Fiber Reinforced Composite with TiO_2 Particulate
…… S. Srinivasa Moorthy and K. Manonmani … 154
【ノ　ー　ト】天然ゴムラテックスと *in situ* シリカから作るパーオキサイド架橋ソフトコンポジット
…… トーサン　アチタヤ，ピンヨチープ　プラニー，浦川　　宏，池田　裕子 … 159

Journal of the Society of Fiber Science and Technology, Japan

Vol. 69, No. 8 (August 2013)

Contents

〔**Reviews and News**〕

〈Foreword〉

Kansei Research Forum "Sound Inspired by Kansei" ····· Takako TOKUYAMA ··· P-253

〈Review〉

Recent Development in Shape Memory Polymers ····· Katsuhiro INOMATA ··· P-254

Garment Industries in Myanmar ····· Hiroyasu ASAI ··· P-259

Plain Talk on Far Infrared Radiation ····· Masayuki ONOUE ··· P-265

〈Series of Reviews for High Performance Papers, Specialty Papers 8〉

Future of the Peripheral Products of High Performance Paper ····· Masaaki MORIKAWA ··· P-269

〈Series of Cultural Tradition Associated with Festivals 5〉

Kishiwada Danjiri-matsuri – A Local Traditional Festival – ····· Nobuhiro ISHIDA ··· P-273

〈Report〉

Annual Meeting and Symposium 2013 ····· The Executive Committee ··· P-278

〈Minutes〉

Summary of 649th Sen'i Gakkai Board of Directors ····· P-283

Summary of an Ordinary General Meeting (2013) ····· P-283

〔**Original Articles**〕

〈Transactions〉

Mechanism of Dye Decoloration Reaction Using Peroxidase in the Presence of Sodium Percarbonate Bleach Activator

····· Miyuki MORITA, Takako WATANABE, and Akira HIGASHI ··· 147

Preparation and Characterization of Glass Fiber Reinforced Composite with TiO_2 Particulate

····· S. SRINIVASA MOORTHY and K. MANONMANI ··· 154

〈Note〉

Peroxide Cross-linked Soft Composite Prepared from Natural Rubber Latex and Silica Generated *in situ*

····· Atitaya TOHSAN, Pranee PHINYOCHEEP, Hiroshi URAKAWA, and Yuko IKEDA ··· 159

Sen'i Gakkaishi

(*Journal of the Society of Fiber Science and Technology, Japan*)

Vol.69 No.8 **August 2013**

CONTENTS OF ORIGINAL ARTICLES EDITION

【Transactions】

Mechanism of Dye Decoloration Reaction Using Peroxidase in the Presence of Sodium Percarbonate Bleach Activator ····· Miyuki Morita, Takako Watanabe, and Akira Higashi ··· 147

Preparation and Characterization of Glass Fiber Reinforced Composite with TiO_2 Particulate ····· S. Srinivasa Moorthy and K. Manonmani ··· 154

【Note】

Peroxide Cross-linked Soft Composite Prepared from Natural Rubber Latex and Silica Generated *in situ* ····· Atitaya Tohsan, Pranee Phinyocheep, Hiroshi Urakawa, and Yuko Ikeda ··· 159

Published by

Sen'i Gakkai (The Society of Fiber Science and Technology, Japan)

3-3-9-208, Kami-osaki, Shinagawa-ku, Tokyo 141-0021, Japan

投稿時の体裁変更のお知らせ

これまで、投稿していただく際にカメラレディー形式に整えていただくことをお願いして参りましたが、今般印刷システムの見直しにより、カメラレディー形式での投稿は必須ではなくなりました。

テキストデータ、図表データを別々のファイルでご用意いただき、図表の差し込み位置が分かるように本文中に示していただければ、ベタ打ちで投稿いただけます。図、写真は jpeg 形式で、表はテキスト情報が抽出可能な word 等で作成してください。その際本文はA4 判に 10.5 から 12 ポイントのサイズで、改行幅は 1.5 行程度に設定してください。

また、図表のレイアウトや大きさなど著者の体裁上のご希望を予めお伝えいただけ、ページ数の見積もりも可能なため､これまで同様カメラレディー形式に整えていただいても結構です｡カメラレディーひな形はホームページからダウンロードしていただけます。

投稿の際の負担を軽減することで、より迅速快適に研究成果をご発表いただけるようになりました。今後とも繊維学会誌への積極的なご投稿をお待ちしております。

報文フォーマット変更のお知らせ

平成 24 年 9 月号より、報文の紙面を下記の様に一部変更させていただきました。

1. 和文、英文とも、Corresponding Author を明示するようにしました。
2. 和文の著者名表示方法を英文に合わせ、所属は 1 ページ目左下に記すようにしました。

なお、学会 HP 掲載のファイルは既に新フォーマットに準拠しています。新規の御投稿にはなるべくこれを利用し、投稿カードと共にメール(hobun-submit@fiber.or.jp)に添付してご投稿ください。また、旧フォーマットで受理された原稿の場合、投稿カードの連絡先に記された方を Corresponding Author とさせていただきます。変更を希望される場合は、proof check の際に変更してください。

「報　文」編集委員
Sen' i Gakkaishi, Editorial Board

編集委員長 Editor in Chief	髪 谷　要(和洋女子大学大学院) Kaname Katsuraya	編集副委員長 Vice-Editor	塩 谷 正 俊(東京工業大学大学院) Masatoshi Shioya
編集委員 Associate Editors	河 原　豊(群馬大学大学院) Yutaka Kawahara	木 村 邦 生(岡山大学大学院) Kunio Kimura	久保野 敦 史(静岡大学) Atsushi Kubono
	澤 渡 千 枝(静岡大学) Chie Sawatari	鋤 柄 佐千子(京都工芸繊維大学大学院) Sachiko Sukigara	高 寺 政 行(信州大学) Masayuki Takatera
	武 野 明 義(岐阜大学) Akiyoshi Takeno	趙　顯 或(釜山大学校) Hyun Hok Cho	登 阪 雅 聡(京都大学) Masatoshi Tosaka
	久 田 研 次(福井大学大学院) Kenji Hisada	諸 岡 晴 美(京都女子大学) Harumi Morooka	山 根 秀 樹(京都工芸繊維大学大学院) Hideki Yamane
	吉 水 広 明(名古屋工業大学大学院) Hiroaki Yoshimizu	和 田 昌 久(東京大学大学院) Masahisa Wada	

The Society of Fiber Science and Technology, Japan (2012&2013)

President	T. Hirai (Shinshu University)
Vice-President	T. Hori (University of Fukui)
	T. Kikutani (Tokyo Institute of Technology)
	H. Hoshiro (Kuraray Co,ltd)
Member-promoting Officer	H. Ogino (Tokyo University of Agriculture&Technology)
Editor "Sen'i to Kogyo"	A. Tsuchida (Gifu University)
Treasurers	S. Shoda (Tohoku University)
	T. Nishimatsu (Shinshu University)
	K. Tashiro (Toyota Technological Institute)
	K. Miyazaki (University of Fukui)
	Y. Tsujii (Kyoto University)
	M. Higa (Yamaguchi University)
Planning Officers	T. Kanaya (Kyoto University)
	Y. Maeda (Toray Industries,inc)
	M. Fukui (Asahikasei Fibers Corporation)

The Society of Fiber Science and Technology, Japan
FIBER
会告
2013
Vol. 69, No. 8 (August 2013)

開催年月日	講演会・討論会等開催名(開催地)	掲載頁
25. 9. 5(木) 6(金)	**平成 25 年度繊維学会秋季研究発表会(名古屋市・豊田工業大学)**	A3～4
9. 5(木) 6(金)	**超臨界流体に関する国際ミニシンポジウム 2013(名古屋市・豊田工業大学)**	A5
8. 26(月) 27(火)	グリーントライボ・ネットワーク夏の学校 2013(宇治市・京都大学宇治キャンパス)	A8
9. 12(木)	ナノ粒子・構造応用研究会第 7 回公開講演会～触媒と電池材料におけるナノ粒子・構造の世界～(東京都・(公社)日本化学会　化学会館)	A8
10. 9(水) ～11(金)	第 56 回　2013 年紙パルプ技術協会年次大会「変革へのチャレンジ…新たな成長を目指して」(浜松市・アクトシティ浜松)	A8
10. 18(金)	第 195 回ゴム技術シンポジウム～未加硫物性に及ぼす配合とその加工性～(大阪市・大阪科学技術センター)	A8
10. 24(木)	第 52 回機能紙研究発表・講演会(徳島県・あわぎんホール(徳島県郷土文化会館)大会議室)	A8
10. 31(木)	第 16 回成形加工テキストセミナーテキストシリーズ第Ⅲ巻「成形加工におけるプラスチック材料」(東京都・タワーホール船堀)	A9
11. 1(金)	**繊維の応用講座『品質最高、元気再興、世界に輝け　日本のものづくり‼』ーものづくりで世界に挑戦、元気な日本を目指してー(東京都・東工大蔵前会館　ロイアルブルーホール)**	A6
11. 7(木) 8(金)	第 21 回プラスチック成形加工学会秋季大会「アッ晴れ！な成形加工」(倉敷市・倉敷市芸文館)	A9
11. 8(金) ～10(日)	**2013 九州・西部ー釜山・慶南高分子(第 16 回)繊維(第 14 回)合同シンポジウム(佐賀県・佐賀大学　本庄キャンパス)**	A7
11. 12(火) 13(水)	第 55 回リグニン討論会(高松市・サンポートホール高松)	A9
12. 5(木) 6(金)	第 19 回アコーステック・エミッション総合コンファレンス(大阪府・関西大学千里山キャンパス)	A9
12. 10(火) 11(水)	第 25 回エラストマー討論会(京都市・京都大学・桂キャンパス)	A9
	繊維学会誌広告掲載募集要領・広告掲載申込書	平成22年 6 月号
	繊維学会定款(平成24年 4 月 1 日改訂)	平成24年 3 月号
	Individual Membership Application Form	平成24年12月号
	訂正・変更届用紙	平成24年12月号
	繊維学会誌報文投稿規定(平成24年 1 月 1 日改訂)	平成25年 1 月号
	繊維学会入会申込書(正・学生会員用)	平成25年 7 月号
	繊維学会入会申込書(維持・賛助会員用)	平成25年 8 月号

「繊維と工業」編集委員

編集委員長　土田　亮(岐阜大学)
編集副委員長　裳谷　要(和洋女子大学大学院)　出口　潤子(旭化成せんい㈱)
編集委員　植野　彰文(KBセーレン㈱)　大島　直久(東海染工㈱)　金　翼水(信州大学)　澤田　和也(大阪成蹊短期大学)
高瀬　栄一(三菱レイヨン㈱)　高崎　緑(宮城教育大)　寺本　喜彦(東洋紡㈱)　中西　輝薫(ユニチカトレーディング㈱)
西田　幸次(京都大学化学研究所)　増田　正人(東レ㈱)　村上　泰(信州大学)　八重田　徹(王子ホールディングス㈱)
山田　秀夫(帝人㈱)
顧問　浅井　恒雄(科学技術ジャーナリスト)　浦川　宏(京都工芸繊維大学大学院)

平成25年度繊維学会主要行事予定

行　　事　　名	開　　催　　日	開　催　場　所
平成25年度秋季研究発表会	平成25年 9 月 5 日㈭、 6 日㈮	豊田工業大学（名古屋）
繊維の応用講座	平成25年11月 1 日㈮	東工大蔵前会館（東京）

平成26年度繊維学会主要行事予定

行　　事　　名	開　　催　　日	開　催　場　所
平成26年度年次大会	平成26年 6 月11日㈬～13日㈮	タワーホール船堀（東京）
創立 70 周年記念事業 （式典・国際シンポジウム）	平成26年 9 月28日㈰～10月 1 日㈬	東京ビッグサイト TFT ホール（東京・有明）

平成 25 年度繊維学会各賞授賞候補者募集

当学会では、功績賞、学会賞、技術賞、論文賞、紙・パルプ論文賞を設け、一般会員より広く推薦を求めています。奮ってご推薦または応募ください。なお、論文賞は、一般公募をせず、論文賞選考委員によりその年の本会会誌に投稿されました報文から選考されます。

推薦（応募）期限は平成 25 年 12 月 25 日㈬となっていますので、ご注意ください。詳細につきましては、下記までお問い合わせください。推薦書類は下記の本部又は各支部にご請求ください。

1. 繊維学会功績賞

① 対象：年齢満 60 歳以上の本会会員で繊維学会の発展に顕著な業績をあげた者、または繊維科学あるいは繊維工業の発展に優れた業績をあげた者。

② 表彰の件数：5 件以内。

2. 繊維学会賞

① 対象：授賞年（平成 26 年）の 4 月 1 日において 51 歳未満の本会会員で、繊維科学について、独創的で優秀な研究を行い、更に研究の発展が期待される研究者。

② 表彰の件数：2 件以内。

3. 技術賞

① 対象：本会会員（維持・賛助会員を含む）で、繊維に関する技術について、優秀な研究、発明または開発を行い、繊維工業の発展に貢献した個人またはグループ。

② 表彰の件数：技術部門 3 件以内、市場部門 1 件以内。

4. 論文賞

① 本会会員で、繊維科学および繊維技術に関し、優秀な研究を行い、その業績をその年の本会会誌（平成 25 年 1 月号～12 月号）に発表した研究者。

② 表彰の件数：3 件以内。

5. 紙・パルプ論文賞

① 対象：授賞年（平成 26 年）の 4 月 1 日において 40 歳未満の本会会員で、過去 5 年間に本会会誌に論文 2 編以上を発表した新進気鋭の研究者。

② 表彰の件数：1 件以内。

問合せ先

本部　一般社団法人　繊維学会事務局
〒141-0021　東京都品川区上大崎 3-3-9-208
TEL : 03-3441-5627　FAX : 03-3441-3260　E-mail : office@fiber.or.jp

支　部　名	支部長名	所　　在　　地	TEL & E-mail
東北・北海道支部	正田晋一郎	〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6-11-514 東北大学大学院　工学研究科 北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県	022-795-7230 shoda@poly.che.tohoku.ac.jp
関　東　支　部	西松　豊典	〒386-8567 長野県上田市常田 3-15-1 信州大学　繊維学部 茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県、新潟県、静岡県（富士川以東）	0268-21-5379 toyo@shinshu-u.ac.jp
東　海　支　部	田代　孝二	〒468-8511 名古屋市天白区久方 2-12-1 豊田工業大学大学院　工学研究科 静岡県（富士川以西）、愛知県、岐阜県、三重県	052-809-1790 ktashiro@toyota-ti.ac.jp
北　陸　支　部	宮崎　孝司	〒910-8507 福井市文京 3-9-1 福井大学大学院　工学研究科 富山県、石川県、福井県	0776-27-9993 k-miyaza@u-fukui.ac.jp
関　西　支　部	辻井　敬亘	〒611-0011 京都府宇治市五ケ庄 京都大学　化学研究所 滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、岡山県、広島県、鳥取県、島根県	0774-38-3162 tsujii@scl.kyoto-u.ac.jp
西　部　支　部	比嘉　　充	〒755-8611 山口県宇部市常盤台 2-16-1 山口大学大学院　理工学研究科 山口県、香川県、徳島県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県	0836-85-9203 mhiga@yamaguchi-u.ac.jp

平成 25 年度繊維学会秋季研究発表会

▌研究発表会・ポスター発表参加募集および参加要領

主　催：一般社団法人　繊維学会

日　時：平成 25 年 9 月 5 日㈭～6 日㈮　2 日間
（ポスター発表は第 52 回染色化学討論会および超臨界流体国際シンポジウムと合同）

場　所：豊田工業大学
愛知県名古屋市天白区久方 2-12-1
名古屋市営桜通線地下鉄相生山駅より徒歩15分
（地下鉄野並駅からタクシーで 5 分、車での来場はご遠慮ください）
アクセスの詳細は下記参照
http : //www.toyota-ti.ac.jp/access/index.html

特別講演：徳川美術館　館長・徳川黎明会
会長　徳川義崇氏「文化を守る」
愛知県絞工業組合　理事長　竹田嘉兵衛氏
「現代に生きる伝統工芸有松・鳴海絞り」

研究発表会：特定テーマと一般研究発表およびポスターを予定しています。
特定テーマ(1)「繊維構造と構造形成過程は、ここまで分かったが…」
特定テーマ(2)「ポリ乳酸と生分解性高分子：何処までが本当に分かったのか？」
特定テーマ(3)「感性計測技術の発展と今後の課題」
特定テーマ(4)「高機能繊維創製のための紡糸技術のこれまでとこれからの流れ」
一般研究発表(1)繊維・高分子固体・複合材料の構造・物性・機能(相分離、ソフトマテリアル、界面、ゲルなどを含む)
一般研究発表(2)繊維・高分子の創製(新素材合成、素材変換・化学修飾、無機素材・有機無機複合素材などを含む)
一般研究発表(3)テキスタイル・消費科学(感性、感覚、計測などを含む)
一般研究発表(4)成形・加工・紡糸(染色、機能加工、ナノファイバー、複合材料などを含む)
一般研究発表(5)天然材料・生分解性高分子・医用高分子材料(天然繊維、紙・パルプ、バイオポリマー、バイオマテリアル、再生医療用材料などを含む)

口頭発表：発表 15 分、質疑応答 4 分、交代 1 分です。

ポスター発表：発表者と参加者の活発な議論による研究交流を推進するため、ポスター発表の場を設けています。
【P1　一般部門】
平成 25 年 9 月 1 日時点で満 30 歳以上の研究者による発表
【P2　若手部門】
平成 25 年 9 月 1 日時点で満 30 歳未満の研究者による発表。若手ポスターについては、優秀発表者へポスター賞を授与いたします。
※ポスター発表のボードの大きさは幅 90cm、高さ 210cm となります。1 日目の 15 時までには貼っていただくようお願いいたします。

第 52 回染色化学討論会：
詳　細：　ホームページをご覧ください。
主　催：(一社)繊維学会　染色研究委員会
日時、会場、懇親会は秋季研究発表会と同一です。
ポスター発表は染色化学討論会、超臨界流体国際シンポジウムと秋季研究発表会の合同で行います。
申込方法が秋季研究発表会とは異なります。ホームページに詳細が掲載されています。

発表プログラム：後日掲載予定

研究発表申込方法：発表申込、予稿集原稿のいずれも専用の WEB から発表 1 件毎に登録、投稿していただきます。
メール、FAX による受付は行いません。

発表方法：口頭発表には液晶プロジェクターが準備されていますが、パソコンは発表者自身がご持参ください。

▌参加登録の方法

参加申込：参加者は、繊維学会ホームページの秋季研究発表会参加申込用紙に必要事項をお書きいただき、WEB にて申込みをしてください。なお、参加登録は参加費入金をもって受理されますので、事前登録締切日までに下記の「送金方法」をご覧いただき、ご送金ください。振込手数料は各自でご負担ください。

(注)繊維学会会員番号(個人会員、学生会員の方)および協賛学協会を必ずご記入ください。
未記入の場合には非会員扱いとなりますので、ご注意ください。

送金方法：登録者は、期限までに参加登録料を下記のいずれかの方法にてご送金ください。

(1) 現金書留：〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-9-208
一般社団法人繊維学会　平成 25 年度繊維学会秋季研究発表会係

(2) 銀行振込：りそな銀行　目黒駅前支店　普通口座　0889579
(加入者名)一般社団法人　繊維学会

(3) 郵便振替：口座番号　00160-9-756624
(加入者名)一般社団法人　繊維学会秋季研究発表会

懇親会：9 月 5 日㈭　18 時 30 分より、オ・バルキーニョにて開催予定です(http : //www.barqui.com/)。
会場は大学から歩いて 10 分ほどです。

参加登録料：

	繊維学会　正会員 維持・賛助会員 協賛学・協会員	非会員	繊維学会 協賛学・協会 学生会員	学生非会員
当日登録	10,000 円	18,000 円	5,000 円	8,000 円

懇親会費：

	繊維学会　正会員 維持・賛助会員 協賛学・協会員	非会員	繊維学会 協賛学・協会 学生会員	学生非会員
当日登録	8,000 円	8,000 円	4,000 円	4,000 円

(注) 1. 参加登録料には，学会予稿集 1 冊が含まれます。
2. 予稿集の事前送付はいたしませんので御了承ください。
3. 懇親会のみに参加される方は，懇親会費のみを御送金ください。
4. 研究発表会、ポスター発表および懇親会への参加は、全員事前登録を原則とします。
5. 事前登録締切後は、すべて当日登録となりますので、ご注意ください。当日登録は会場の受付に直接お越しください。

お問い合わせ先：本研究発表会に関して、ご不明な点がありましたら次のアドレスまでメールでお問い合わせください。
(豊田工業大学　田代孝二：ktashiro$toyota-ti.ac.jp)　　(連絡する時は $ を@にかえてください)

その他：不測の事態が生じた場合は、WEB 上で告知することをご承知おきください。
ご不明の点は、学会事務局(TEL : 03-3441-5627　FAX : 03-3441-3260　メール：office@fiber.or.jp)にお問い合わせください。

▌平成25年度繊維学会秋季研究発表会実行委員会

実行委員長：田代孝二(豊田工大)

副実行委員長：澤渡千枝(静岡大)、田坂　茂(静岡大)、土田　亮(岐阜大)

実行委員：青山忠幸(東邦テナックス)、浅田光則(クラレ)、猪股克弘(名工大)、太田幸一(あいち産科研三河センター)、岡本正巳(豊田工大)、奥村和之(岐阜産技センター)、木村　浩(岐阜大)、高橋朋子(旭化成せんい)、武野明義(岐阜大)、田原大輔(豊田工大)、仲井朝美(岐阜大)、長坂俊夫(三菱レイヨン)、永田謙二(名工大)、野々村弘人(繊維学会事務局)、長谷寛之(ポリプラスチックス)、増田智恵(三重大)、松田靖弘(静岡大)、村瀬浩貴(東洋紡)、山元博子(豊田工大)、吉岡太陽(豊田工大)、吉水広明(名工大)

超臨界流体に関する国際ミニシンポジウム 2013

主　催：一般社団法人 繊維学会　超臨界流体研究委員会
協　賛：一般社団法人 繊維学会　染色研究委員会、化学工学会超臨界流体部会

超臨界流体染色をはじめ繊維・高分子関連分野での超臨界流体技術の応用が活発に研究されています。この分野を中心に世界の研究開発について議論するためにそれぞれの分野での第一人者の講演と最先端の研究発表を兼ね、ミニシンポジウムを開催します。ふるってご参加ください。

日　時：平成 25 年度繊維学会秋季研究発表会期間（平成 25 年 9 月 5 日㈭～6 日㈮）
1 日目：招待講演および懇親会　　2 日目：ポスター発表（10～20 件予定）

講　師：

1）9:30～10:20　Industrialization of Supercritical carbon dioxide dyeing technology on Wool fiber
Prof. Zheng Laijiu, Dalian Polytechnic University, China

2）10:20～11:10　Fabrication of Hollow Fiber by Electrospinning under Pressurized Carbon Dioxide
Prof. Motonobu Goto, Nagoya University, Japan

3）11:10～12:00　Integration of Supercritical Fluid Technologies : Chemical Reaction and Particle Formation
Prof. Youn-Woo Lee , Seoul National University, Korea

昼　食

13:00～14:00　繊維学会特別講演

4）14:30～15:20　Impregnation Technique for Textile Modification Using Supercritical CO_2 Fluid.
Prof. Satoko Okubayashi, Kyoto Institute of Technology, Japan

5）15:20～16:10　Carbon Dioxide Processing for Polymerization and Nanocomposite Formation
Prof. Amyn S Teja, Georgia Institute of Technology, USA

6）16:10～17:00　Material processing using supercritical CO_2
Prof. Idzumi Okajima, Eduard Lack, Shizuoka University, Japan

場　所：豊田工業大学（平成 25 年度繊維学会秋季研究発表会会場）
〒468-8511 名古屋市天白区久方二丁目 12 番地 1　TEL : 052-802-1111

参加費：

	事前登録（8 月 31 日まで）	当日登録
繊維学会超臨界流体研究委員会会員	15,000 円	20,000 円
上記以外の一般	20,000 円	25,000 円
学生*	5,000 円	7,000 円
懇親会費	5,000 円	7,000 円

*平成 25 年度繊維学会秋季研究発表会申込者は無料
銀行振込：福井銀行文京支店　普通預金口座　1135037
（加入者名）繊維学会超臨界流体研究会

申し込み：発表申し込みおよびお問い合わせは下記宛にメールでお願いします。
奥林里子 okubay@kit.ac.jp
申し込み締め切り：平成 25 年 8 月 26 日㈪
振り込み締め切り：平成 25 年 8 月 31 日㈯

実行委員会：
委員長：奥林里子（京都工芸繊維大学）
委　員：濱田州博（信州大学）、阿尻雅文（東北大学）、堀　照夫（福井大学）、後藤元信（名古屋大学）、杉浦和明（京都市産業技術研究所）、斉藤拓（東京農工大学）、廣垣和正（福井大学）

繊維の応用講座
『品質最高、元気再興、世界に輝け　日本のものづくり‼』
― ものづくりで世界に挑戦、元気な日本を目指して ―

現在、日本の製造業は、国内需要の減少や円高などにより、大変厳しい状況に直面しています。こうした厳しい状況にあればこそ、ものづくりの第一線で活躍する方々のたゆまぬ努力や優れた成果にスポットを当て、広く発信してゆくことが、ものづくりに携わる全ての方々の意欲向上につながると考えています。

今回の繊維学会応用講座は、**『品質最高、元気再興、世界に輝け　日本のものづくり‼』**をテーマとして、繊維産業を中心として各産業分野で、ユニークな素材、商品並びに匠の技術を有する企業や研究機関の方々に、御紹介を賜り、今後の展望並びに将来像を判り易く解説して頂きます。

繊維業界のものづくりに携わる多くの方々が元気になることは、ひいては繊維の研究開発や製造業が今後も力強く成長してゆく原動力になるものと確信しております。各位には非常に有益な講演会と思われますので、多数のご参加をお願いいたします。

主　催：一般社団法人 繊維学会

日　時：平成 25 年 11 月 1 日㈮　9 : 20～17 : 00

場　所：東工大蔵前会館　ロイアルブルーホール
〒152-0033　東京都目黒区大岡山 2 丁目 12-1　東工大蔵前会館
東工大蔵前会館インフォメーション　TEL : 03-5734-3737
（東京急行大井町線・目黒線　大岡山駅下車　徒歩 1 分　駅前すぐ）

プログラム内容と講師

『3D プリンターが描く新しいビジネス』
アルテック株式会社　デジタルプリンター事業部　原　　裕之

『自然から学ぶこれからの香料開発』
高砂香料工業㈱　研究開発本部　江村　　誠

『インクジェット染料の高耐久化のための分子設計と製造法の確立』
富士フイルム㈱ R&D 統括本部有機合成化学研究所　主席研究員　矢吹　嘉治

『今治タオル、世界に通じるブランド構築の道（仮称）』
今治市役所あるいは四国タオル組合（交渉中）

『銅ボンディングワイヤの開発（仮称）』
日鉄住金マイクロメタル㈱（交渉中）

『新しい研究視点の創造－細胞生物学のブレークスルー（仮称）』
理化学研究所/東大院・理　教授　中野　明彦

定　員：120 名（定員になり次第締め切らせていただきます）
（講演会終了後に、簡単な名刺交換会を予定しています。）

参加費：正会員・企業会員（含む維持・賛助会員）：15,000 円　　企業非会員：18,000 円
大学官公庁関係会員：10,000 円　　大学官公庁非会員：14,000 円
学生会員：　3,000 円　　学生非会員：　5,000 円

申込方法：参加申込はホームページの応用講座からお願いします。（8 月中に開設）

問合せ先：〒141-0021　東京都品川区上大崎 3-3-9-208
繊維学会　TEL : 03-3441-5627、FAX : 03-3441-3260
E-mail : office@fiber.or.jp　ホームページ：http : //www.fiber.or.jp/

2013 九州・西部－釜山・慶南高分子(第 16 回)繊維(第 14 回)合同シンポジウム

主　催：高分子学会九州支部　韓国高分子学会釜山慶南支部
　　繊維学会西部支部　　韓国繊維工学会釜山慶南支部

日　時：平成 25 年 11 月 8 日㈮～10 日㈰

場　所：佐賀大学　本庄キャンパス

申込み：HP をご参照ください。

2 年に一度韓国釜山と九州の間で、持ち回りで開催している合同の国際シンポジウムを、今年は佐賀大学にて行います。繊維・高分子に関する活躍しておられる研究者に招待講演をしていただくと同時に、若手研究者からの口頭発表と学生主体のポスター発表があります。隣国韓国との国際交流の良い機会ですので、ご参加ください。

プログラム

11 月 8 日㈮　　Welcome Reception

11 月 9 日㈯

8 : 00～ 9 : 00　Registration

9 : 00～ 9 : 10　Opening Remarks

9 : 10～ 9 : 40　Invited Lecture 1 : Prof. Byeong-Su Kim (Ulsan National University)
"Self-Assembled Block Copolymers to Unblock the Challenges in Energy and Biomedical Applications"

9 : 40～10 : 10　Invited Lecture 2 : Prof. Keiji Tanaka (Kyushu University)
"Spatial Heterogeneity in Soft Materials"

10 : 10～10 : 40　Coffee break

10 : 40～11 : 10　Invited Lecture 3 : Prof. Hyo Jung Kim (Pusan National University)
"Nanostructures and Molecular Orientation in Organic Photovoltaics"

11 : 10～11 : 40　Invited Lecture 4 : Prof. Hirotsugu Kikuchi (Kyushu University)
"Structures and Properties of Liquid Crystal Blue Phases"

11 : 50～12 : 50　Luncheon Session : Student Poster Oral Presentation (2min/person)

13 : 00～14 : 00　4 Student/Post-Doc Presentations (2 from each country) (15min/person)

14 : 00～15 : 00　Student Poster Oral Presentation (2min/person)

15 : 00 ~ 15 : 30　Coffee break and Poster set up

15 : 30～17 : 30　Poster presentation

18 : 00～　Banquet and Poster / Oral Presentation Award Ceremony

11 月 10 日㈰　　Conference Tour

ポスター発表申込方法、予稿原稿締切、参加登録料等は公式ウェブサイト(http : //www.env.kitakyu-u.ac.jp/~akiba01/KSPG2013HP/toppage.html)をご覧ください。

連絡先：〒808-0135 北九州市若松区ひびきの 1-1
北九州市立大学国際環境工学部　秋葉　勇
TEL : 093-695-3295　FAX : 093-695-3385　E-mail : spsj_kku@kitakyu-u.ac.jp

グリーントライボ・ネットワーク 夏の学校 2013

主　催：文部科学省 GRENE 事業先進環境材料分野：グリーントライボ・イノベーション・ネットワーク
日　時：平成 25 年 8 月 26 日㈪・27 日㈫
場　所：京都大学宇治キャンパス（京都府宇治市五ヶ庄）
詳細は GRENE ホームページを参照ください。
http : //res.tagen.tohoku.ac.jp/~tribonet

ナノ粒子・構造応用研究会 第 7 回公開講演会
～触媒と電池材料におけるナノ粒子・構造の世界～

主　催：一般社団法人 未踏科学技術協会
ナノ粒子・構造応用研究会
日　時：平成 25 年 9 月 12 日㈭
場　所：（公社）日本化学会　化学会館　6F 601
プログラム：
「光触媒を用いる水からの水素製造」
東京大学　堂免　一成
「構造規制された金クラスターとその触媒」
東京大学　佃　　達哉
「プラズマスプレーによる次世代リチウムイオン電池用 Si ナノ複合粒子の開発」　東京大学　神原　　淳
「ナノ構造デザインによる高効率熱伝導変換材料の開発」
名古屋大学　河本　邦仁
「全固体リチウム二次電池の開発」
大阪府立大学　辰巳砂昌弘
問合せ先：一般社団法人 未踏科学技術協会　ナノ粒子・構造応用研究会
TEL : 03-3503-4681
E-mail : n-powder@sntt.or.jp

第 56 回 2013 年紙パルプ技術協会年次大会
「変革へのチャレンジ…新たな成長を目指して」

主　催：紙パルプ技術協会
日　時：平成 25 年 10 月 9 日㈬～11 日㈮
場　所：アクトシティ浜松（浜松市中区板屋町 111-1）
内　容：製紙産業関連企業の展示会、特別講演会、製紙関連講演会、懇親会、見学会
詳細はホームページ
http : //www.japantappi.org
問合せ先：〒104-8139　東京都中央区銀座 3-9-11　紙パルプ会館 11 階
紙パルプ技術協会　TEL : 03-3248-4841
担当　富田　E-mail : tomita@japantappi.org
中越　E-mail : nakakoshi@japantappi.org

第 195 回ゴム技術シンポジウム
～未加硫物性に及ぼす配合とその加工性～

主　催：一般社団法人 日本ゴム協会研究部会
成形加工技術研究分科会
日　時：平成 25 年 10 月 18 日㈮
場　所：大阪科学技術センター　7 階 700 号室
プログラム：
「配合から見た加工性」
関西ゴム技術研修所　山口　幸一
「シリカ配合ゴムの混合方法とゴム物性及び加工性について」　横浜ゴム　三原　　諭
「成形加工性評価のためのシミュレーション」
藤倉ゴム工業　撰　　隆文
「配合を考慮した最近の加工性評価」
化学物質評価研究機構　隠塚　裕之
「プラスチックスの押出とゴムの押出の比較」
西沢技術研究所　西澤　　仁
「加工性における未加硫物性と配合の影響」
元、横浜ゴム　石川　泰弘
問合せ先：一般社団法人 日本ゴム協会
第 195 回ゴム技術シンポジウム係
東京都港区元赤坂 1-5-26　東部ビル 1 階
TEL : 03-3401-4143
E-mail : nakagawa@srij.or.jp

第 52 回機能紙研究発表・講演会

主　催：特定非営利活動法人 機能紙研究会
日　時：平成 25 年 10 月 24 日㈭
場　所：あわぎんホール（徳島県郷土文化会館）大会議室
テーマ：「機能紙、イノベーションの創出へ向けて」
プログラム：特別講演 2 件、一般講演 8 件程度
ポスター研究発表及び新製品展示会、交流会、見学会
問合せ先：特定非営利活動法人機能紙研究会
事務局（森川、紀伊）
〒799-0101 愛媛県四国中央市川之江 4084-1
TEL : 0896-58-2055
E-mail : kinoushi@e-kami.or.jp

第 16 回成形加工テキストセミナー
テキストシリーズ第Ⅲ巻
「成形加工におけるプラスチック材料」

主　催：プラスチック成形加工学会
日　時：平成 25 年 10 月 31 日㈭
場　所：タワーホール船堀　2F　平安
プログラム：
成形加工におけるプラスチック材料（第 1 章）
東京工業大学　鞠谷　雄士
成形加工におけるプラスチック材料の微細構造（第 2 章）
東京工業大学　鞠谷　雄士
射出成形における結晶性プラスチックの構造形成（第 3 章）
東京工業大学　鞠谷　雄士
成形加工とプラスチックの転移現象（第 4 章）
山形大学　小山　清人
成形加工とプラスチックの物性（第 5 章）
信州大学　大越　豊

第21回プラスチック成形加工学会秋季大会
「アッ晴れ！な成形加工」

主　催：プラスチック成形加工学会
日　時：平成 25 年 11 月 7 日㈭、8 日㈮
場　所：倉敷市芸文館　（倉敷市中央 1-18-1）
内　容：
特別講演　学術講演「ノーベル化学賞を受賞して」
北海道大学名誉教授　鈴木　章
文化講演「文化の力」
大原美術館理事長　大原謙一郎
特別セッションⅠ「環境調和型プラスチック材料と成形加工」
特別セッションⅡ「ゴム・エラストマー材料」
特別セッションⅢ「混練・複合化技術」
特別セッションⅣ「構造制御と解析法の進歩による高分子材料の高性能・高機能化」
一般セッション、地域セッション、ポスターセッション
問合せ先：〒141-0032　東京都品川区大崎 5-8-5
グリーンプラザ五反田第 2　205
一般社団法人 プラスチック成形加工学会　事務局
TEL : 03-5436-3822　FAX : 03-3779-9698

第 55 回リグニン討論会

日　時：平成 25 年 11 月 12 日㈫、13 日㈬
場　所：サンポートホール高松（高松市サンポート 2 番 1 号　高松シンボルタワー）
討論主題：リグニンの基礎及び応用研究
講演申込締切り：平成 25 年 9 月 6 日㈮
参加予約登録締切り：平成 25 年 10 月 9 日㈬
問合せ先：第 58 回リグニン討論会事務局
片山健至、鈴木利貞
〒761-0795　香川県木田郡三木町 2393
香川大学農学部　バイオマス化学研究室内
TEL : 087-891-3083, 3089
E-mail : lignin2013@ag.kagawa-u.ac.jp

第 25 回エラストマー討論会

主　催：一般社団法人 日本ゴム協会
日　時：平成 25 年 12 月 10 日㈫、11 日㈬
場　所：京都大学・桂キャンパス（京都市西京区京都大学桂）
内　容：研究発表は口頭発表とポスター発表
問合せ先：一般社団法人　日本ゴム協会　エラストマー討論会係
東京都港区元赤坂 1-5-26　東部ビル 1 階
TEL : 03-3401-2957　E-mail : srij@srij.or.jp

第 19 回アコーステック・エミッション総合コンファレンス

主　催：一般社団法人　日本非破壊検査協会
日　時：平成 25 年 12 月 5 日㈭、6 日㈮
場　所：関西大学千里山キャンパス　第 4 学舎 3 号館
内　容：特別講演（1 件）　一般講演（35 件程度）
問合せ先：〒101-0026 東京都千代田区神田佐久間町河岸 67　MBR99　4 階
一般社団法人　日本非破壊検査協会　学術課
TEL : 03-5821-5105
E-mail : nakamura@jsndi.or.jp
協会ホームページ　http : //www.jsndi.jp/

福井大学大学院工学研究科
繊維先端工学専攻教員募集

募集人員：教授 1 名
所　　属：福井大学大学院工学研究科繊維先端工学専攻
専門分野：繊維科学、高分子物性、材料化学、複合材料に関する分野において研究・教育に携わることが可能な方。
担当科目：大学院および学部において工学の基礎科目および繊維・高分子材料系の講義
採用年月日：平成 25 年 4 月 1 日
選考方法：書類および面接審査
応募書類：履歴書、教育研究業績等
応募締切日：平成 25 年 9 月 30 日㈪(必着)
問合せ先：〒910-8507　福井市文京 3-9-1
福井大学大学院工学研究科繊維先端工学専攻・専攻長・久田研次
TEL : 0776-27-8574　FAX : 0776-27-8747
E-mail : k-hisada@u-fukui.ac.jp
詳細は福井大学 HP(http : //www.u-fukui.ac.jp/cont_about/recruit/recruit.html)を参照願います。

京都女子大学専任教員募集

職員及び人員：家政学部生活造形学科教授
専門分野：服装社会学、服飾美学、アパレル企画分野
担当予定科目：「西洋服飾史」「服装心理学」「服飾美学」「アパレル企画論」「アパレル企画実習」「アパレル造形学特論」「アパレル造形学特別研究」「アパレル造形学特殊研究」他
採用年月日：平成 26 年 4 月 1 日
応募締切日：平成 25 年 9 月 10 日㈫　12 : 00　必着
提出書類、提出先は問合せ先に確認してください。
問合せ先：京都女子大学　教務部学部事務課
TEL : 075-531-7045　FAX : 075-531-7216
提出書類は、本学 Web サイト(http : //www.kyoto-wu.ac.jp/)
からダウンロードしてください。

北海道大学大学院工学研究院
(環境人間工学研究室)助教公募

本公募(専門分野)：
衣・住生活学、温熱環境学、人体生理学)は、「輝け、女性研究者！根を張れ、花咲け、実を結べ@北大」によるプロジェクト人事です。
女性のみを対象とする公募を行い、本学人材育成本部・女性研究者支援室を中心に全学で支援します。
公募締切：平成 25 年 9 月 30 日㈪
詳細案内：http://www.eng.hokudai.ac.jp/faculty/recruit/

岐阜市立女子短期大学専任教員公募

採用職名：教授、准教授、または専任講師
採用人員：1 名
所　　属：岐阜市立女子短期大学　生活デザイン科
担当科目、業務：生活材料科、材料管理学、テキスタイル素材演習、テキステイルデザイン演習、生活環境学、消費科学、卒業研究とし、その関連科目を担当
着任時期：平成 26 年 4 月 1 日
応募締切日：平成 25 年 8 月 30 日㈮
＊応募資格、応募書類、選考方法、応募書類提出先については問合せ先に確認してください。
問合せ先：岐阜市立女子短期大学　生活デザイン科
学科長　村上眞知子
TEL : 058-296-4183　FAX : 058-296-4184

龍谷大学理工学部教員公募

公募人員：助教(任期付)　広い意味での有機系または高分子系　1 名
所　　属：理工学部物質化学科
任　　期：5 年間(更新無し)
着任時期：平成 26 年 4 月 1 日
応募締切り：平成 25 年 11 月 30 日(消印有効)
＊応募資格、待遇、提出書類については問合せ先にご確認ください。
問合せ先：〒520-2194　滋賀県大津市瀬田大江町横谷 1-5
龍谷大学理工学部物質化学科
学科主任　宮武　智弘
TEL : 077-543-7467
FAX : 077-543-7483(事務室)
E-mail : miyatake@rins.ryukoku.ac.jp